

## ローマ人への手紙 12 章 14-21 節私訳と関連聖句

12 章 9-13 節 「愛は偽り(偽善)がないものです。悪を憎み、善に結びつき(親しみ)、兄弟愛において互いに慈しみ、互いへの尊敬において競争し合い、熱心さに怠けることなく、霊に燃え、主に仕え、望みにおいて喜び、苦難に耐え、祈りに専念し、聖徒たちの必要に参加し合い(コイノネオー)、旅人のもてなしに努めながら」

12 章 14 節 「祝福しなさい、あなたがたを迫害する者を。  
祝福しなさい。呪ってはいけません」

12 章 15、16 節 「喜んでいる者たちとともに喜びなさい、泣いてる者たちとともに泣きなさい。互いに対して同じことを思い、高ぶって思うことなく、かえって身分の低い人と交わり、自分を知恵ある者としてはいけません」

12 章 17-19 節 「だれに対しても悪に悪を報いることなく、すべての人にとって善いと思えることを思い巡らし、もし可能なら、自分のことに関しては、すべての人との平和を保ちなさい(分詞「保つことをしながら」)。自分で復讐することなく、愛する人たち、御怒りに場所を空けなさい。それはこう書かれているからです。『復讐はわたしのもの、このわたしが報いをする』と、主は言われる」

12 章 20、21 節 「もし、あなたの敵が飢えているとするなら、その人に食べさせなさい(口に入れて差し上げなさい)。もし渴いているとするなら、その人に飲ませなさい。それはそうすることによって、あなたは燃える炭火をその人の頭上に積むことになるからです。悪に打ち負かされてはなりません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい(悪を打ち負かしなさい)」

### <引用聖句>

(マタイ 5:43,44) 山上の説教 「『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」

(詩篇 139:21) 「主(ヤハウェ)よ 私はあなたを憎む者たちを 憎まないでいられましょう」

(申命記 11:29) 「あなたはゲリジム山の上には祝福を、エバル山の上にはのろいを置かなければならない」 (申命記 27:13-26) モーセはイスラエルの民をエバル山に立たせ十二回の「のろい」を宣告。初めは偶像を作って安置する者への「のろい」、それに続いて「自分の父や母を軽んじる者はのろわれる」「隣人の地境を移す者はのろわれる」「目の見えない人を道に迷わせる者はのろわれる」など

(申命記 32:35,36) 「復讐と報復(報い:シャレム)はわたしのもの。それは彼らの足がよろ

めくときのため。彼らのわざわいの日は近く、来たるべき時が速やかに来る。主(ヤハウェ)は御民をかばい、主のしもべらをあわれまれる」

(ルカ 23:34) イエスは十字架上で、パリサイ人たちのために 「父よ、彼らをお赦しください。彼らは自分が何をしているのかが分かっていないのです」と祈られた

(同 23:32) その直前にイエスはエルサレムに対する神のさばきを、「生木にこのようなことが行われるなら、枯れ木にはいったい何が起こるでしょうか」と宣告された。

(創世記 12:3) 「わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう」

(ローマ 8:31) 「もし神が私たちの味方なら、だれが私たちに敵対するでしょう」

(箴言 25:21, 22) 「もし、あなたを憎む者が飢えているなら、パンを食べさせ、渴いているなら、水を飲ませなさい。なぜなら、あなたは彼の頭上に燃える炭火を積むことになり、主(ヤハウェ)があなたに報いてくださるからだ」

(Ⅱ列王記 6:15-1) エリシャがアラムの軍隊に包囲されたとき、火の馬と戦車が彼を取り巻いて山に満ちていたという記事がある。エリシャが主(ヤハウェ)にアラムの兵士の目を見えなくするようにと願うと、主は彼らの目を見えなくさせ、彼らは知らないうちにサマリアの町の真ん中に導かれ、イスラエル軍に包囲されてるのに気づくことになった。そのときエリシャはイスラエルの王に、アラムの軍を打ち殺す代わりに、「パンと水を与え、食べたり飲んだりさせて、彼らの主君のもとに行かせなさい」と勧めた(同 6:22)。その結果が、「それ以来、アラムの略奪隊は二度とイスラエルの地に侵入しなかった」(同 6:23)と描かれている。

(出エジプト 23:5) 「あなたを憎んでいる者のろばが、重い荷の下敷きになっているのを見た場合、それを見過ごしにせず(それを起こしてやりたくなくても)、必ず彼と一緒に起こしてやらなければならない」

(詩篇 94:1,2) 「復讐の神 主(ヤハウェ)よ 復讐の神よ 光を放ってください。地をさばく方よ 立ち上がってください。高ぶる者に報復してください」

(詩篇 37:1, 2) 「悪を行う者に対して熱くなるな(自分を燃やすな)」「不正を行なう者」は「青草のように枯れる」(同 37:3) 「主(ヤハウェ)に信頼し、善を行なえ。地に住み、誠実(真実)を養え(守り育てよ)」(同 37:4) 「主はあなたの心の願いをかなえてくださる」(同 37:6) 「主はあなたの義を光のように輝かしてくださる」

(詩篇 37:7, 8) 「主(ヤハウェ)の前に静まり、忍んで主を待て。その道で栄え、悪意を遂げる人に対して熱くなるな(自分を燃やすな)。怒りを手放し、憤りを捨てよ。熱くなるな(自分を燃やすな)。それはただ悪への道だ」(同 37:11) 「しかし、柔和な者は地を受け継ぐ。また、豊かな平和(シャローム)をおのれの喜びとする」